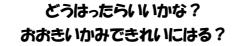
劇遊び ~表現を楽しむ~ R5,12,11

役になりきったり表現を楽しむのに 小道具も大事なもの。

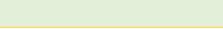
子ども達のイメージを形にして より楽しめるように協力して 作りました。

廃品製作や夏のお楽しみ会で触れた 大きな段ボールなど今までの経験 からどんな形にするのか考えたり、 お友だちと共有すると興味や意欲が 広がり楽しんでいました。





かみをいっぱいはるとつよくなるんだって



むずかしいからみながらかこうかな~



いっぱいつけて~



~ももたろう~ 鬼が島へ出発 動物たちとのやりとり





動きや声の大きさなど保育室で楽しんでいたままだと、ホールでは周りに聞こえなかったり 伝わらないことに気付く子もいました。少しずつ"劇を観てもらう"意識が出てきた瞬間です。 でも、どうしたら良いかわからない子どもたちにお客さん役で見ていた子たちが感想で見えなかったり聞こえないことを伝えられ、自分達の気づきに自信を持ち、表現を変えたり 工夫しようとする姿が見られました。

~さるかに~ さるとかにのやりとり さるの家で待ち伏せる





劇の会で見てもらうことが分かると子どもたちに期待感や不安感が見られていました。 時に理由もわからず急に寂しくなったり、やりたくない気持ちが出たりします。 それは担任や保護者の期待感や気持ちの表れでもあると感じ、子どもたちには "ちゃんとやらなきゃ"ではなく表現を楽しんで仲間と一緒にやり遂げた達成感や 満足感を感じられるようにしたいと思いました。

劇遊びをやっていくごとに良くなり楽しくなっていく子ども達。

楽しかった。もっとやりたい。と思えるように一緒に楽しみたいと思います。